



CLUB OFFICE
京都YMCA 三條本館
京都市中京区三條通柳馬場角
TEL 075-231-4388

THE Y'S MEN'S CLUB OF

Kyoto Prince

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MENS CLUBS
"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

2018
11

Bulletin
2018.11.1発行
第34巻第5号通巻395号

主
題

国際会長 私たちは変えられる "Yes we can change"
アジア会長 アクション "Action"
西日本区理事 未来に残すべきものを守り育てる
"Let's protect and cultivate what should be passed on to the Future"
京都部部长 永遠の絆 "Will the circle be unbroken"

聖
句

そのとき、ペトロがイエスのところに来て言った。「主よ、兄弟がわたしに対して罪を犯したなら、何回赦すべきでしょうか。七回までですか。」イエスは言われた。「あなたに言うておく。七回どころか七の七十倍までも赦しなさい。」

マタイによる福音書18章21節～22節



「京都市教育長にお聞きしました」

京都市教育長 在田 正秀

京都プリンスワイズメンズクラブの皆様におかれましては、日頃から、京都市の教育に御支援をいただき、心から感謝申し上げます。

本年は、明治改元から150年の節目に当たります。明治維新後の洛中は、6割が焼け野原となり、人口が約34万人から23万人へと減少、京都は都市存亡の危機に直面していました。こうした中、京都の先人は、「まちづくりは人づくりから」と、町衆(市民)が私財を投じ、明治2年、日本で初めての64もの地域制小学校(番組小学校)を設立しました。このような歴史と伝統を土台とし、本市では「開かれた学校づくり」を基盤に、「一人一人の子どもを徹底的に大切にすること」という教育理念の下、各学校・幼稚園が教育目標と課題を保護者・地域と共有しながら、市民ぐるみ・地域ぐるみの教育を推進してきました。今後とも、幅広い市民の皆様にご参画いただきながら、本市学校教育の歩みをさらに確かなものにしていきたいと考えております。

さて、「貧困をなくそう」、「すべての人に質の高い教育を」、さらには「雇用」や「イノベーション」、「不平等の是正」、「環境」など、国際社会が連携して2030年までの達成を目指す共通目標「SDGs」が、国連において採択されて3年を迎えますが、この3年の間にも、急速なグローバル化やAIの飛躍的な進化により、社会は加速度的に変化し続け、「今後、10～20年の間に約半数の職業がAIに奪われる」、「65%の子どもたちは、今存在していない職業に就く」、といった予測も出されています。

こうした不透明で将来の予測が困難な未来社会を迎える中で、今、まさに学校で学んでいる子どもたちには、「SDGs」という世界共通の普遍的な価値観を共有した上で、多様な他者との協働により、予測できない社会の課題を見つけ、自ら考え行動するなど、目標や未来をデザインできる「人間の強み」をしっかりと発揮できる人材、現状をよりよく変えていく「チェンジ・メーカー」の養成が求められています。そのためには、まずは一人一人の子どもたちが、生まれ育った地域や自国の文化に誇りを持つことで、自らのアイデンティティをしっかりと確立することが重要です。

<次ページへ続く>

会長主題

出会う
つなぎあわせる
よくしてゆく

会長 宇高 史昭
副会長 三村 良行
澤田 哲平
書記 飯尾 豊
会計 田中 邦昭
内外会長 宇高真知子

強調月間

Public Relations
Wellness

10月 例会案内

7日(水) 通常例会
安保理事長をお迎えしてのCSアワーです。「のさん支援に対して我々にできる事」のグループワークをします。
21日(水) 通常例会
メンバーシップ例会として、プリンス川柳大会を開催します。優秀な作品には賞品を出します。

例会出席

10月第一例会	11名
10月第二例会	11名
在籍者数	16名
メンバーシップ	0名
出席率	93.8%

BFポイント

切手	0pt
現金	0円
累計	0円

ファンド

円	
累計	192,650円

ニコニコ

10月第一例会	5,000円
10月第二例会	円
累計	18,000円

京都は、1200年を超える長い歴史の中で培われた伝統と文化を大切に、自由で先駆的な気風を育みながら、個性豊かで活力に満ちたまちを築いてきました。京都で学び育つ子どもたちには、豊かな地域の人材や教育資源の下で、全校で実施している伝統文化体験活動等を通じて、京都ならではの歴史や自然・文化を知り、今も暮らしの中に息づく精神性や行動様式への理解を深めてもらうことで、日本の伝統と文化の本質に触れ、幅広い視野と豊かな感性を育んでもらいたいと思っています。

同時に、海外から多くの観光客が訪れ、また1万人を超える留学生が生活するここ京都での幅広い交流を通して、多様な文化や価値観を認め合い、共に生き、尊重し合う態度を育て、実社会においても、様々な人々と連携・協働しながら、より良い未来社会の創り手として、京都から世界へ羽ばたいてもらいたいと考えています。

さらに、今、公教育が果たすべき役割は多岐に渡っていますが、その中でも極めて重要なものは、子どもの貧困と貧困の連鎖を断ち切る「希望」となることです。家庭の経済状況等から生じる「困り」により、将来を左右されることなく、子どもたち誰もが希望を持って頑張ることができる社会の実現、その中でも特に学校教育は、大きな役割を果たさなければなりません。確かな学力、体力、豊かな人間性を備え、日本の伝統と文化に立脚しながら、幅広い視野と、異なる存在を受容する寛容性・多様性を持った人間の育成を目指し、この高い目標の下、今後とも、各学校が説明責任を徹底し、地域・保護者・大学・産業界など様々な方の御理解や御参画もいただきながら、幅広い「学び」の充実に取り組みたいと考えています。

「教育」に関わる者の責任は重大ですが、「教育」とは希望であり、未来の創造です。来年(平成31年)、明治2年の番組小学校設立からちょうど150年を迎えますが、京都には今も「子どもを地域や社会の宝として大切に育む生活文化」である「はぐくみ文化」が息づいています。番組小学校を設立した明治期の先人の気概、英知を引き継いでしっかり教育ができていくか、今一度私たち一人一人が確認・共有し、子どもたちの未来のために共に行動することが何より大切だと考えています。

今後とも、本市教育の更なる充実に取り組んでまいりますので、皆様の御理解・御協力をお願い申し上げますとともに、京都プリンスワイズメンズクラブのますますの御発展を御祈念申し上げ、御挨拶とさせていただきます。

10月第一例会 **京都部部長公式訪問**

2018/10/3
三村 良行

9月に列島を通過した2個の台風被害が京都一円に残る10月3日に京都部より川上孝司京都部部長、山口雅也EMC主査、東田吉末PR委員長をお迎えしての恒例である京都部部長公式訪問が開催されました。

まず最初に山口EMC主査が京都部のメンバー在籍数について、期首と9月末時点を報告いただき現状の各クラブの状況を述べられ、我がクラブにはメンバー増強を希望されました。宇高会長も今期の目標を30名とされているのでメンバー各自がスポンサーにならなければ無理な数字なので私も含め本気モードを出さねばと思いました。メンバー増強にはクラブの良い雰囲気づくりも重要で、その為にはご自身の経験上、会員同士の親睦が大切であると熱く語っておられました。

次に東田PR委員長がスピーチされ、優秀な社会人の集団であるワイズメンズクラブ、各クラブの素晴らしい事業活動をもっと社会にアピールしたい、そのためにPR委員会を利用させていただきたいとのお願いをされました。そのためのデーターの依頼もされました。今後ともよろしくお願ひします。

最後に、川上京都部部長より大阪クラブがチャーターされた11月10日がワイズデーの由来であることや、今季メインの事業である11月11日開催のワイズデーに京都市と共催できたことを広報のチャンスであると述べられ、当日行われるバリアフリーコンサートのバリアフリーの意味についてもご自身の思いを熱く語られ協力をお願いされました。

その後CS主任の時に作られたマラリアについてのスライドを見せて頂き良い勉強をさせて頂きました。ワイズに入会と同時にロールバックマラリア献金に協力していることも再認識できました。ワイズデーが成功裏に終わり、健康に注意され期末までの活躍をお願いします。



毎年の恒例になった3クラブ(グローバル・ウエル・プリンス)の合同例会が今年は京都グローバルクラブのホストでリーガロイヤルホテル京都において19時より持たれ、例会ということでプリンスクラブからは11名のメンバーが参加して交流を深めてきました。

いつもの例会と違い3クラブ50名を超える例会は迫力を感じます。しかしホストクラブのメンバーからは空席が気になったようで、ドタキャンに心を痛められているようでした。わがクラブは少しお休みのメンバーが目立ったけれど当日休みがなくて安堵いたしました。食事はメインに肉料理、なかなか素晴らしいものでした。前菜、スープ、デザートと美味しくいただき、空席でさみしく置かれていた食事もみんなでシェア(満足)。

3クラブのメンバーが各テーブルに分かれて座り、会話も弾んだことと思いますし、なにより他クラブのメンバーと友情を深めることが出来ていれば合同例会の目的は達成されたことと思います。

講演はカリスマブロガーとして知られ「Mのランチ」でも知られる松村輝幸様のお話を聞くことが出来ました。25年間の食べ歩きから学んだ商売の本質をテーマに流行っているお店の共通点について、お客様の目線に立った経営がなされているかなど具体例を通してお話いただきました。街中で行列ができていく風景をよく見かけますが、一過性に終わらず常にお客様の目線で変化を持たしつつ事業展開することの大切さを教えられました。

また、ブログ世界の怖さを感じたお話でもありました。人の言葉に戸を立てることはできませんが、噂より早く拡散する個人的情報に人間の理性は歯止めを利かすことはできるのでしょうか。これからの世の中が、政治が不安に感じた日となりました。

例会の後、ホテルのバーで2次会、わたしは膝を痛め炎症をおこしているため禁酒中。さみしく帰路へつきました。お世話いただいた京都グローバルクラブの皆様感謝いたします。次回はプリンス？



京都Zeroクラブ EMC百人例会に出席して

西村 博

10月25日木曜日、ウエスティン都ホテル京都にてZEROクラブの百人例会が開催された。会場は120人を超える参加者で熱気にあふれていた。「万病撃退一腸が免疫の鍵だった」と題して、二人の講師を招いての講演会が開かれた。表題のように腸内環境について、詳しく解り易く説明がなされ、食事の大切さや、日ごろの自身の健康管理のために気を付けなければならないことを学ぶ良い機会となった。

みなさんは腸内環境についてこんなことを御存じだろうか。腸内には多数の菌が生息しているがその7割が日和見菌というその名の通りいい加減な菌であり、残り3割の善玉菌と悪玉菌の比率によって善玉にも悪玉にもなるという厄介な菌であるという事を。従って、ちょっとした腸内での善悪のバランスが、取り返しのつかない状況を生み諸々の体調不良、腸は癌にまで発展するのだそうだ。大腸癌を患った身としては「遅かりし」の感は否めないが、今後の再発予防のためにも心して聞いておく必要のある話ではあった。

腸内が善玉優位か悪玉優位かを知る手掛かりは、やはり便にある。すなわちバナナのように黄色くて太くてすりと出る便がよく臭いも強くないものが良いらしい。思えば自身のものは、悪臭であったなど！のみならず汗の臭い、体臭も要注意らしい。ではどうすれば腸内環境を善玉優位にできるのかと言えば、やはり食事！

「おかあさんやすめははきとく」(オムライス・カレー・アイス・サンドイッチ・焼きそばスパゲッティ・目玉焼き・ハンバーグ・ハムエッグ・餃子・トースト・クリームシチュー)はよろしくなく、「まごわやさしい」(まめ・ごま・わかめ・やさしい・さかな・しいたけ・いも)を取るべし！そこから体内に善玉の住む環境を作り出す腸内生産物質(短鎖脂肪酸・乳酸・酢酸・エクオール・ビタミンB群)が生み出されるという事らしい。しかしながら、上記の如く、現代人の食生活ではなかなか難しいので、腸のトラブルひいてはその他諸々の病が蔓延しているのだとか。ではどうするのか？その日の講演者のお一人は腸内研究20年のアースフレッドという会社の方だったが、その会社が研究成果としてこの生産物質を製品化して販売されているとのことで、直接これを利用することで腸内環境が善玉主導になり、その後の自覚とケアで環境を維持していけるらしい。何ともありがたいものがあることだ。私は積極的にこの製品を利用しようと思っている。

引き続いての講演は、こうした腸内環境の崩れが自律神経の乱れをも引き起こし、不眠や肌トラブルその他諸々の病の要因になることから、何に気を付けて体をメンテしていけばよいかを話された。体幹をしっかり鍛えていく事が、今日あらゆるスポーツ選手の常識で、一般人にも必要なことという事で、簡単で有効な体感の鍛え方を指導していただいた。どちらのお話も、即実践可能なもので、健康寿命を延ばすためには必要なものだと思つた次第。元気で長生き！皆さん頑張りましょう！

1. オータムフェスタ

毎年行われる秋のイベントです。自然あふれる環境の中、秋の一日を楽しみましょう。秋の魅力と味覚が満載です。ぜひご参加ください。

日時：11月18日(日) 11:00～15:00

場所：京都YMCAリトリートセンター

参加費：(大人(中学生以上))2,000円/(小学生)1,000円/(幼児)無料

※京都駅、JR宇治駅、京阪宇治駅より無料送迎バスあり。(要事前申込(11月10日(土)締切))

お申込み・お問合せ：京都YMCAリトリートセンター事務局 (TEL)075-255-4709(当日のみ:0774-24-3838)

(E-mail)retreat@kyotoymca.org

2. YMCA・YWCA合同祈禱週集会 日野原重明さんからのファイナルギフト ～ユースエンパワメントに向けて～

今年の合同祈禱集会のテーマは「ユースエンパワメント」です。今回、日野原重明さんが遺したメッセージを、医師として、人として継いでおられる川越厚さん(医療法人社団パリアン理事長)をお招きして伺います。

ぜひ、この機会に日野原先生の「ファイナルメッセージ」に耳を傾けてみませんか。

日時：11月16日(金)19:00～21:00

場所：京都YWCA(京都市上京区室町通出水上ル近衛町44)

参加費：500円(茶菓付)※学生は無料です。

申込締切：11月9日(金)

お問合せ・お申込み：京都YMCAまたは京都YWCAまで、電話、メールまたはFAXにてお申し込みください。

京都YMCA(TEL)075-231-4388

(E-mail)kyoto@ymcajapan.org

3. スキーキャンプ・ウインタープログラム 募集

(会員・会友) Web受付 10月22日(月)～

(会員・会友) Web受付 10月26日(金)～

(会員・一般) 電話受付 11月1日(木)～

お申込み・お問合せ：京都YMCAウエルネスセン

(TEL)075-255-4709

詳しくは予約専用サイトe-YMCAをご覧ください。

<https://e-ymca.appspot.com/kyoto/index>

10月度 役員会報告

報告事項

●YMCA国際協力街頭募金、全体で23万円ほど集まりました。

●ワイズデー、午前10時集合、昼食の弁当希望者は、森ワイズに頼んでください。

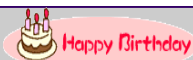
●リトセンオータムフェスタでは、ぜんざいを販売します。集合は9時です。

●京都YMCAから学園債発行の説明会が、11月12日に開催されます。

承認された事項

●岡西ワイズ、岸ワイズをドライバー委員会に配属する件

11月



3日 蒔田 茂夫

編集後記

メンバー各位忙しい中ブリテン原稿の依頼申し訳ないです。

11月 スケジュール

7日(水) 第一例会
19:00 グランドプリンスホテル

11日(日) ワイズデー
10:00 京都市北文化会館

18日(日) リトセンオータムフェスタ
9:00 リトリートセンター

21日(水) 第二例会
19:00 グランドプリンスホテル

28日(水) 役員会
19:30 京都YMCA

2018年11月25日(日)
子供シェルターのののさん
第3回 応援チャリティゴルフ

必要経費を除き、チャリティとして子どもセンターののさんに寄付します。

会場 メイブルヒルズGC 滋賀県甲賀市信楽町田代65
日時 11月25日(日)
プレーフィー 14,300円 (ランチ+ワンドリンク)
コンバ代 2,500円 ※バンカー、OBは、チャリティ500円/個(上限1,000円)

ののさんについて
家に帰れず、ひとりぼっちで、夜を明かざるを得ない子どもたちに、安心して休めるあたたかい居場所を提供する。それが子どもセンターののさんです。